

■九鬼周造 哲学者。「『いき』の構造」によって日本の哲学に新生面を開き、「実存」などの語を定着させるも、早世した。

くきしゅうぞう

初の対等条約1888＝ 東京芝公園で、九鬼男爵家の四男に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 1歳：

日清戦争始・1894＝ 6歳：

八幡製鉄始・1897＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝16歳：東京高等師範学校付属中学校を卒業。

日露戦争終・1905＝17歳：

満鉄発足・・・1906＝18歳：

第一高等学校を経て、

東京帝国大学哲学科に進み、

明治天皇没・1912＝24歳：和辻哲郎と同期に卒業。

21ヶ条要求・1915＝27歳：

原敬首相暗殺1921＝33歳：ヨーロッパに留学、

リッケルト、ハイデッガー、ベルグソンに学ぶとともに、第1次世界大戦後の激動する西欧思想の多彩な展開のなかに身を置き、在欧中に多くの論文を発表、

護憲三派圧勝1924＝36歳：

治安維持法・1925＝37歳：以降、匿名で多くの詩歌を雑誌(明星)に投稿、

円本時代始・1926＝38歳：パリで「時間論」という小冊子を刊行、

世界恐慌・・・1929＝41歳：帰国して、京都帝国大学哲学科講師になると、

海軍軍縮条約1930＝42歳：*ハイデッガーの現象学的・解釈学的方法を日本文化の解釈に用いた「『いき』の構造」を発表、日本の哲学に新生面を拓く。

満州事変・・・1931＝43歳：

国際連盟脱退1933＝45歳：京都帝国大学助教授となり、

芥川直木賞始1935＝47歳：*教授となる。この年、実存哲学(“実存”という訳語は彼にはじまる)のはらむ問題性を“偶然性”の問題を中心に追求し、世界理解と実践的行為の根源的意味を問うて「偶然性の問題」、

日中戦争始・1937＝49歳：

第二次大戦始1939＝51歳：「人間と実存」(これにより「実存」の語が定着した)、

日米開戦・・・1941＝53歳：*「文芸論」を著すなど、現代哲学の中心的課題を探求したが、研究の途中で、病没した。